

生活困窮世帯等の子どもに対する学習・生活支援事業業務委託における 公募型プロポーザル方式による受託候補者の選定結果について

「生活困窮世帯等の子どもに対する学習・生活支援事業業務委託」における受託候補者の公募を行った結果、2 団体から応募があり、「生活困窮世帯等の子どもに対する学習・生活支援事業業務委託受託候補者選定委員会」での審査結果を踏まえ、以下のとおり受託候補者の選定を行いました。

今後、受託候補者と契約交渉を行った上で、随意契約の相手方とします。

1 件名

生活困窮世帯等の子どもに対する学習・生活支援事業業務委託

2 履行期間

契約締結日から令和4年(2022年)3月31日まで

3 受託候補者

事業者名	特定非営利活動法人とよなかESDネットワーク
所在地	豊中市庄内幸町2丁目29-19
代表者	理事長 畑 直樹
提案金額	2,111,480円(税抜)

4 公募及び審査経過

(1) 公募経過

令和3年(2021年)

- ①実施要領等の公表；5月28日から
- ②質問受付；5月28日から6月7日
- ④提案書類提出期限；6月21日

(2) 応募団体

「生活困窮世帯等の子どもに対する学習・生活支援事業業務委託受託候補者選定(公募型プロポーザル方式)実施要領」に基づき、2 団体から提案書類の提出がありました。

【応募団体(50音順)】

特定非営利活動法人 とよなかESDネットワーク
株式会社トライグループ

(3) 審査経過

令和3年(2021年)5月26日～27日 第1回選定委員会

令和3年(2021年)6月29日 第2回選定委員会(二次審査(プレゼンテーション))

※応募者が4社未満であったため、第一次審査(書類審査)の実施なし。

(4) 選定委員会の構成

※敬称略、順不同

委員名	役職等
◎ 濱政 宏司	市民協働部くらし支援課 課長
松永 啓太	市民協働部コミュニティ政策課 課長
厚東 祐子	こども未来部こども政策課 課長
杉山 眞紀	教育委員会児童生徒課 課長

◎は会長

5 選定理由

困難を抱えた子ども・若者への支援及び地域の状況を熟知しており、本業務で求められる地域の支援拠点及び支援のつなぎ手であるという役割を理解した上で、これまでの豊富な経験や実績から、生活困窮世帯だけではなく、不登校・ひきこもり、外国ルーツの子ども・若者への支援の取組みなど具体的で実現可能性の高い独自提案がなされている。

また、自然体験、芸術体験のほか、料理作りなど日常生活習慣や社会性の育成に関する多様なプログラムが提案されており、学習面だけではなく、総合的な取組みを通じて、本業務が効率的・効果的に遂行されることが期待できることから、受託候補者としてふさわしいと判断しました。

6 採点結果【総得点 100 点満点】

応募が2者であるため、豊中市公募型プロポーザル方式の実施に関するガイドラインに基づき公表しないこととする。

7 担当課

市民協働部くらし支援課